

# あくるいし 市議会だより



vol. 52

令和8年3月1日発行



ほら、  
黒石の朝って  
こんなにもいい。

「ふるさとを、表す。」制作者／黒石高校 白戸 花音  
作品素材提供／黒石市商工観光部観光課

★ 黒石高校情報デザイン科の生徒の皆さんから御提供の、黒石市をモチーフにした作品です。

## 議会の傍聴について

黒石市議会は、一般質問や会期最終日に行われる議案審議のほか、例年3月に開催する予算特別委員会、9月に開催する決算特別委員会を傍聴することができます。開催日については、日程が決まり次第、ホームページで公開しています。

また、一般質問や議案審議の様子は、YouTubeでライブ配信を行っているほか、編集作業が終わり次第、録画配信を行っていますので、後から確認することもできます。

なお、録画配信の配信期間は1年間となっています。

Ⓜ 黒石市議会 YouTube ホームページ



## 目次

第4回定例会について	2
一般質問 ほか	3～6
視察報告	6～7
黒石高校とのトークセッション会 ほか	8

## 令和7年第4回定例会についてお知らせします

会期 12月1日(月)～12月15日(月) 15日間

今期定例会では、市長から報告1件と議案46件の合計47件が提出されました。会議の中で行われた質疑応答の主なものを御紹介します。

なお、議案等の一覧はホームページに掲載しています。

また、市長提出議案の内容については黒石市総務課までお問い合わせください。

### 議案に対する本会議での主な質疑応答

○議案第128号 令和7年度黒石市一般会計補正予算(第4号)

**問** 高齢者世帯等除雪サービス事業委託料が増額となっているが、その内容は

**答** 当初予算で95件を見込んでいましたが、9月1日から10月15日まで受け付けしたところ、129件の申請があり、34件増えたことで増額補正しました。

○議案第141号 令和7年度黒石市一般会計補正予算(第5号)

**問** 公共施設等整備基金積立金の残高と財政調整基金の状況について

**答** 公共施設等整備基金積立金の残高見込みは14億9168万2000円となっており、当初予算と比較して4億9119万4000円増額しました。  
財政調整基金は、令和7年度末で23億5000万円を見込んでいますが、令和8年度から令和10年度までは大型建設事業が予定されているため、取り崩しにより残高の減少が見込まれているものの、その後は横ばいで推移するものと想定しています。

**問** 公共施設等整備基金積立金を振り分けることによる今後の影響と見通しについて

**答** 交付金や歳入及び歳出については振り幅が大きいので、市の財政をしっかりと考えながら、財政調整基金は20億円を堅持していきたい。起債も減少するよう事業を展開したいと考えています。

# 一般質問



## 9人が市政を問う

令和7年第4回定例会において行われた一般質問の中から、1議員につき1～3項目程度の質問及び答弁の要旨を質問した議員が自ら作成し、掲載しています。内容等で御不明な点がありましたら、議員に直接お尋ねください。

また、一般質問の動画を YouTube で公開しているほか、市議会ホームページで会議録を御覧になれます。

### 黒石自民クラブ 三上 廣大 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



#### 指定管理者の運営に対する評価は

- 問** 津軽伝承工芸館の指定管理者に対して、どのような評価をしているのか
- 答** 施設管理は大変丁寧に行っていると評価しています。規模も大きく、経年劣化が目立ってきていますが、掃除や日常点検に力

を入れ環境美化に努めており、来訪者には気持ちよく利用していただいていると受け止めています。また、独自のイベント開催やストリートピアノの設置など、従業員が日々アイデアを出し合い、誘客に努めています。

今後は食事や体験メニューの改善、情報発信や旅行者への営業など市でも助言を行いながら、今以上の施設運営となるよう支援します。



### 黒石茶話会 成田 浩基 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



#### 広報物のポスティングの検討を

- 問** 広報物のポスティングを民間委託する考えは
- 答** 行政連絡員の皆様の理解もあり、広報物の配布に関して問題や苦情は寄せられていないことから、民間委託によるポスティング

は、現時点において実施する考えはありません。

**問** 市道と公園へのネーミングライツを実施する考えはあるのか

**答** 長年定着している名称に企業名が付され変わることは、市民の理解を得る必要があり、既存の市道や公園へのネーミングライツ導入は難しいと考えています。

しかし、新たに都市公園が整備された場合は、ネーミングライツの導入における効果や課題を分析するなど、導入の可能性について調査研究していきます。

自民・公明クラブ  
大溝 雅昭 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



を設けることができます。職員の事情を尊重し、働き方の選択肢を増やすことを目的としており、育児、介護、農業などに活用することを想定しています。

**問** 黒石アートBOXの運営方法は  
**答** 市直営で運営することとしており、市職員のほか、地域おこし協力隊員の配置を想定しています。

### 週休3日制導入の目的は

**問** 市職員の週休3日制の導入について  
**答** 選択的週休3日制は、4週間を超えない期間の中で、勤務時間1日分をほかの勤務日に割り当てることで、1週間の勤務時間を維持しながら、週休日以外に勤務しない日

- その他の質問
  - ・豪雪への課題と取組について
  - ・小・中一貫教育の取組について

自民・公明クラブ  
工藤 俊広 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



**問** ふるさと納税を活用した関係人口の創出について

**答** 現在、観光プロモーション動画の紹介、旅行デジタルクーポンと体験型返礼品の導入を行っていますが、二地域居住を視野に入れた体験型返礼品の拡充や寄附お礼状から市公式LINEへ誘導するなど、ふるさと納税の活用を検討していきます。

### まちの活力創出を推進

**問** 物価高対応子育て応援手当の給付時期について  
**答** 児童手当支給対象児童を養育する父母等に対して、子供1人当たり2万円を2月までに支給する予定です。

- その他の質問
  - ・食料品物価高騰対策について
  - ・熊被害対策について
  - ・スマート農業について

自民・公明クラブ  
北山 一衛 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



市では経営規模拡大を考えている農業者等に対して、活用に向けた働きかけを行っています。

**問** 新規就農者育成総合対策事業支援者の就農状況について

**答** 新規就農者を支援する経営開始資金の交付は、旧対策を含めて平成24年度から実施しており、令和6年度までに受給した103人のうち96人が現在も農業を続けています。今年度は、これから農業を始めたいという問合せが7件ありますので、営農の取組内容を十分に聞き取りし、事業の活用ができるよう指導していきます。

### 農業行政の状況は

**問** 耕作放棄地の現状と活用に向けた取組について  
**答** 耕作放棄地は市内農地面積の5.6%に当たる201.6ヘクタールあり、復元が難しいと判定される農地は94ヘクタールあります。

日本共産党  
工藤 禎子 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



### 中小企業への支援と除排雪の徹底を

- 問** 本県も最低賃金が引上げとなったが、賃上げを行った中小企業を支援する考えは
- 答** 現段階では考えていませんが、国・県による物価高騰対策の動向を注視しながら最低賃金引上げに伴う各支援制度の情報提供に

努めます。

**問** 積雪に対する出動基準と除排雪の徹底について

**答** 出動基準は除雪事業計画に基づき、雪の降り始めと降り終わりの時期は降雪が15センチメートル以上、根雪の時期は10センチメートル以上あったときに出動することとしています。

また、排雪作業は道路パトロールなどから、緊急性や重要性を総合的に判断し、計画的に実施しています。



自民・公明クラブ  
後藤 隆夫 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



### 今冬の雪対応はどうするのか

- 問** 今冬の雪への対応は
- 答** 雪に関する総合窓口を設置し運用を開始したほか、市ホームページや市公式LINEで除排雪の状況などの情報をスムーズに得られるようにしました。除雪対応において

は、重要路線を優先的に除排雪するほか、幹線農道除雪では、幹線除雪を早期に行い、回数は2回としました。

**問** 国スポに係る宿泊施設は十分か。また、駐車場は確保できているのか

**答** 大会関係者1日当たりの最大宿泊者数を588人と見込んでいますが、市内宿泊施設の提供可能人数は301人、充足率は51.2%となっており、市内宿泊提供数は不足している状況です。

一般観覧者の駐車場は、御幸公園などの市有施設や会場周辺の公共施設、民間施設を臨時駐車場として借用する方向で調整しています。

黒石自民クラブ  
黒石ナナ子 議員

動画で確認！  
(YouTube へつながります)



### もみじ山の新たな取組は

- 問** 中野もみじ山紅葉期間中の新たな取組について
- 答** 今年度の新たな取組として、キッチンカーが複数台出店しており、期間を通じてにぎわい創出につながりました。出店者からも

好評で、来年度もさらに充実させたいと考えています。

**問** 市民文化祭の今後の取組について

**答** 主催する黒石文化協会が令和8年3月末日で解散する方針を決定しました。令和8年度以降の開催は未定の状態ですが、黒石アートBOXが6月に開館予定のため、これまで市民文化祭への参加団体の作品や舞台発表を披露する場は提供できると考えています。今後も市民が行う芸術文化活動について積極的に応援し、感性と創造力を高める芸術文化活動の推進を図っていきます。

## 自民・公明クラブ 中田 博文 議員

動画で確認！  
(YouTubeへつながります)



事業や障害福祉サービス等給付事業などに活用されています。

**問** 温泉供給事業の民間移譲について  
**答** 民間移譲については、受給者が多く居住し、落合共同浴場を運営している袋町内会役員との意見交換を実施し、現在の経営状況や運営形態などの説明を行っています。今後も引き続き事業の効率的な運営を図り、地元町内会との定期的な話し合いや受給者への説明会などを行い、できるだけ早期に民間移譲できるように努めていきます。

### ふるさと納税で市の活性化を

**問** ふるさと納税について

**答** ふるさと納税の返礼品は356点で、令和7年度は6億円の寄附金を見込んでいます。制度開始からの寄附金累計は令和7年度の見込みを含め24億円で、子ども医療費給付

- その他の質問  
・民生委員の充足率について

## 令和7年第4回定例会の審議議案と賛否状況について

今期定例会の審議議案については、全議案全会一致で賛成となりました。また、審議議案及び各議員の賛否状況については議会事務局にお問い合わせいただくか、黒石市議会のホームページを御覧ください。



スマホでチェック!



## 経済建設常任委員会 福島市を行政視察

経済建設常任委員会は、令和7年11月6日に福島県福島市の「ICTを活用した農業の推進」、「スマート農業への取組」について行政視察しました。

最先端技術を活用した取組について伺ったところ、スマート農業については、農業機器導入の補助などが行われています。

福島市は東日本大震災により農業分野でも甚大な影響を受けており、復興に伴い、今後はさらなる大規模化を目指し予算も拡充するとのことでした。

高齢化に伴う担い手不足解消と高品質化に向けた取組は、当市も同様の課題があり、さらなるICT等活用の農業推進を図っていくために議会で取り上げてまいりたいと思います。



## 民生福祉常任委員会 弘前地区環境整備センターを視察

民生福祉常任委員会は、令和8年1月14日に弘前地区環境整備センターを視察しました。

黒石地区清掃施設組合が令和8年3月31日で解散し、令和8年4月1日より弘前地区環境整備事務組合に加入するため、搬入できるごみの種類、処理能力、処理方法、発電設備、運搬経路、資源ごみの処理等、施設整備を確認しました。

黒石地区が加入することによるごみの処理量は、処理能力の範囲内で問題ないと説明は受けたものの、家庭のごみを減らす3R（リデュース、リユース、リサイクル）に努めるよう改めて考えさせられました。

今後は組織の構成、組合の決定事項を注視していきます。



## 黒石自民クラブ行政視察

黒石自民クラブは、令和8年1月20～21日の日程で宮城県石巻市の「災害に強いまちづくり」について行政視察しました。

東日本大震災における大規模津波災害への当時の対応とその後の復旧・復興の経験に基づき策定された「石巻市震災復興基本計画」を軸に、危機管理体制の構築や津波避難ビル・タワー、避難所、福祉避難所等の整備推進の取組についてや、甚大な被害を受けた大川小学校の校舎等を震災の記憶と教訓を後世に伝え続けるため、震災遺構として保存・整備（写真右下）しているとの説明を受けました。

特に、行政からの積極的な防災関連情報発信や防災フェアの開催等、市民と共に取り組むことが大変重要であり、当市においても数多く参考となる取組、事例を学ぶことができました。



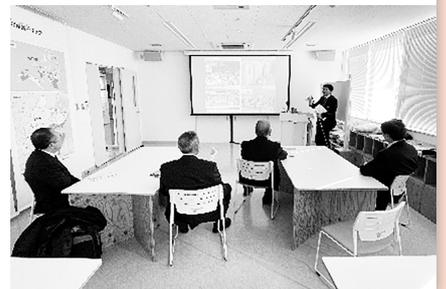
## 自民・公明クラブ行政視察

自民・公明クラブは、令和8年2月3日に宮城県塩竈市津波防災センターを行政視察しました。

塩竈市では、高さ1.5m～4.8mの津波が市内を飲み込み17名の尊い命が犠牲となりましたが、被害を最小限に抑えられた要因の一つとして、防災無線が挙げられると説明を受けました。

震災を教訓に建てられた防災センターは、2階の高さの避難経路の整備がされているほか、食料や毛布、救助資材などが保管されています。また、防災に関する知識及び技術の普及向上などの目的で利用できるブースがありました。

説明の中で印象に残ったことは、避難所において、知らない人達と生活するのと、知っている人達と生活するのでは大きな差があるということです。私たちも、いろいろなイベントを通じて、普段から地域の人が繋がりを持つことが大切だと感じました。





# 黒石高校情報デザイン科の生徒さんとのトークセッション会

令和7年12月12日に黒石市役所わのまちセンターにおいて、将来の黒石市を担う若い世代の考えを市政に活かす取組として、黒石高校情報デザイン科の生徒さんとのトークセッション会を行いました。

当日は、生徒の皆さんから「まちの魅力はどう発信するか」、「若者が住み続けたいと思える環境とは」、「観光、イベントの情報発信の向上」など、多彩な視点での意見やアイデアが寄せられました。

普段からデザインに向き合っている生徒ならではの着眼点には、「こうすれば黒石市はもっと魅力的になる」といった未来志向が強く表れており、まちづくりの可能性を見つめ直すよい機会になったと捉えています。

今回のトークセッション会を通じ、若い世代が黒石市の未来を考え、議会がその声を受け止めることの大切さを改めて実感しました。これからも若い世代との対話を積極的に進め、まちづくりに活かしたいと考えています。

参加して下さった黒石高校情報デザイン科の生徒の皆さん、本当にありがとうございました。



## 編集後記

極寒の中、総選挙が慌ただしく行われ、多くの方が政治に関心を持たれたと思います。関心が高まることで監視の目が政治に向けられます。逆に、無関心は政治の腐敗につながるとも言えます。

当市議会といたしましても、市民の皆様に関心を持っていただける議会だよりを目指し、研鑽を重ね、発信してまいりますので、よろしくお願いいたします。

(工藤 俊広)

## 議会だより編集特別委員会

- 委員長：今 大介
- 副委員長：八戸 実
- 委員：工藤 俊広
- 三上 廣大
- 後藤 隆夫
- 成田 浩基